



学校教育目標

自ら学ぶ子

「学び続ける子」「共に生きる子」「健やかな子」「浦島の子」「未来を創る子」

7月号 令和5年7月1日



学校 Web ページへ

こた 答えはあとで

ふくこうちょう かわた ひろゆき
副校長 川又 宏之

気象庁から沖縄地方・奄美地方の梅雨明けが発表されました。梅雨明けに限らず、天気に関するニュースが多いのは、四季がはっきりしている日本ならではのです。様々な情報が手に入るようになった近年は、天気に関して答えを早急に求めがちです。「梅雨入りしたのか」「梅雨明けはいつなのか」等々。

インターネットは当たり前となり、SNSが普及した現在は、知りたい情報が素早く手に入るのですぐに答えを求めがちになります。その答えが自分の知りたいことと一致していれば満足できます。

先日、私は腕時計のバンドを留める細い鉄芯がはずれ、直そうとチャレンジしました。長さ1cmあまり、直径は1mmに満たないものです。やっと見つけた鉄芯を留められるか試みました。穴のサイズにぴったりでしたのでこの鉄芯に間違いなさそうです。あとは、はめ込むだけです。

しかしそこからが難しかったのです。すき間が狭いうえに鉄芯は細くて短いです。何度も失敗しながらやっとのことで時計本体とバンドをつなげました。チャレンジ成功です。ここまでインターネットなどで調べることなく、人に聞くことなく、自分の力で解決しました。

私たちは、子どもと接していると答えを急いで欲しくなることがよくあります。

○何か言いたそうにしているとき……何か困ったことある？ どこか痛いのか？

○宿題をしているとき……そこは違うよ。 それ、この前やっていたのと同じやり方だよ。

○説明がわかりにくいとき……言っていることが通じないよ。 結局何が言いたいのか？

子どもは、自分の言葉で一生懸命伝えようとしているのですが、なかなか伝えきれないことがしばしばあります。そんな時、どうすればよいのでしょうか。方法はさまざまです。

- ① きちんと伝えられるまで子どもに何度も繰り返しさせる。
- ② 大人が言うことを教えながら子どもが言えるようにする。
- ③ 場面を想定して、あらかじめ教えておく。

どれが正しいということはありませんが、どの方法を選んでも『子どもが自ら考える』時間をとることが大切です。繰り返し行うことで、身につくことがあります。失敗から学ぶこともあります。『考えながら自分で行う』ことが子どもの成長につながるのです。

大人が満足する答えがすべてではありません。答えを早急に求めず、我慢強く繰り返しチャレンジさせながら成長を促していく。学校は、一人ひとりに合った声掛けをしながら、子どもたちの力を伸ばせるように今後も努めてまいります。